

登別市市民自治推進委員会
第6回全市観光に関する企画委員会 議事概要

開催日時：平成23年5月24日（火）18：30～20：00

開催場所：市民活動センターのぼりん 2F市民活動室D

出席者：川田、岡田、石亀、南部、中原、平田、半田、瀧川（事業見直し企画委員会）
大野（社会教育G）、橋場（観光振興G）、松田（観光振興G）、猪股（観光協会）、
杉立（商工会議所）、松本（政策推進G）、沼田（政策推進G）

1. 議題

はじめに：本日は、ご当地検定の事業提案に向けて、ご意見を頂く為に各関係団体にご出席いただいた。

(1) 報告事項

登別観光協会主催の講演会「選ばれ続ける地域とは～観光カリスマ山田桂一郎」に、川田、岡田、石亀、半田、瀧川5名で参加した。（5/7 於：まほろば）

桜坂一期一宴「ヘルシーウォーキング」に、川田、岡田、石亀、半田、片岡5名で参加した。（5/8 於：カントレラ）

(2) 協議事項

「ご当地検定」についての経緯と概要説明

- ・これまで、全市観光の推進について研究してきた。その手法の一つとしてご当地検定について検討をしてきた。商工会議所が実施している場合が多いが、なかなかうまくいっていない現状である。
- ・自分たちの考える全市観光は市民すべてが登別市の宣伝マンになって登別市をPRするというもの。その為のご当地検定であり、一時的な物ではなく観光文化に活かせるものにした。趣旨の目的としては、全市民に観光振興をしていただきたいと考えている。
- ・主催は、実行委員会組織（仮称：登別の観光文化検定試験委員会）で行いたい。また、趣旨内容ならび概要詳細については、実行委員会を立ち上げた後に精査して行きたい。
- ・各団体には、実行委員会に入って頂きご協力をお願いしたいと考えている。

各団体の主なご意見

- ・活用が無いと如何なものか。どの様にしたいか明確にするべきでは。
- ・明確な目標を作っていくべきでは。例えば商売につながる、観光知識に秀でた人材を育成するなど。
- ・観光協会としては誘客目的で行いたい。
- ・学習の機会として、捉えればいいのでは。試験成績の優秀者はときめき大学の講師として活躍できるかもしれない。
- ・商工会議所の検定試験は事業として実施している。収支が成り立たない事業は受けられない。問題を作成する能力はない。受験場所の提供や受付のノウハウはあるので、そういった協力の可能性はある。要望をあげていただきたい。
- ・観光協会としては、出来ることはさせていただく。詳細については要協議。予算面も協力出来る部分もあるが、額については要協議。
- ・本企画委員会では、別組織として実行委員会を立ち上げようと考えている。実行委員会の立ち上げにあたって、牽引役である自治推進委員会が案の完成度を高めた上で関係機関と協議する方法と、大枠の段階で関係機関と協議する方法が考えられるが、今回は、大枠の段階で各団体の皆さんからご意見をいただく機会と受け止めています。本日の会議では、それぞれの団体の立場や考え方を伺うことができた。今後も関係団体の皆さんと引き続き協議する場を持たせていただき、市民自治推進委員会内部で全市観光の進め方について検討すべきと考えます。
- ・自治推進委員会においては、全市観光を進めるにあたってご当地検定をしなければならないという観点で各団体に話しをするのではなく、検定の受検者は受験をすることでどう楽しめるのか、どんなステータスになるのかメリットを考えるべきだし、市民自治推進委員会のメンバーだけでこの検定は進められないのだから、各団体がこの実行委員会に加わることでどんな魅力があるのかお示しする必要がある。今後はそういった事を自治推進委員会において検討してからまた皆さんからご意見をいただければどうか。

まとめ

- ・本日もいただいた貴重なご意見を参考に委員会において再検討します。また、別途機会を見てお集まりいただいた各団体から、ご意見をいただきたい。

(3) 次回会議

- ・日程：平成23年6月21日（火）18時30分～
- ・場所：市民活動センターのぼりん 2F会議室
- ・内容：「ご当地検定」の細部検討